



消防広報「纏(まとい)」

平成25年度にかほ市消防訓練大会結果

7月7日、市消防本部を会場に、にかほ市消防訓練大会が開催され、市内20部43班460人の消防団員が参加しました。

大会では、日ごろの訓練を生かした消防技術を披露するなどし、応援に訪れた地域の住民や家族の声を聞きながら、規律やポンプ車操作の技術などを競い合いました。



【起立訓練の部】

1位 第2分団第3部
(長岡・大森・水岡)

2位 第6分団第4部
(釜ヶ台・冬師)

3位 第7分団第3部
(百目木・立居地・樋ノ口)

3位 第7分団第1部
(伊勢居地・中野)

3位 第3分団第2部
(川袋・大砂川)

3位 第3分団第1部
(関・中ノ沢)

【ポンプ車操法の部】

◆団体表彰
1位 第6分団第1部1班
(院内)

2位 第2分団第1部1班
(小滝)

◆個人表彰
指揮者・(院内) 小川俊樹

1番員・(院内) 細矢文英
2番員・(関) 須田暁

3番員・(小滝) 佐藤弥
4番員・(院内) 横山光芳

【小型ポンプ車操法の部】

◆団体表彰
1位 第3分団第2部1班
(川袋)

2位 第2分団第3部2班
(大森)

2位 第3分団第1部2班
(中ノ沢)

3位 第6分団第4部1班
(釜ヶ台)

3位 第7分団第3部1班
(百目木)

3位 第7分団第2部1班
(畑)

◆個人表彰

指揮者・(川袋) 池田勲

1番員・(大森) 佐藤佑介
2番員・(川袋) 池田大輔
3番員・(川袋) 佐々木雄紀

平成25年秋田県総合防災訓練が にかほ市で開催されます。

◆訓練開催の目的

この訓練は、防災関係機関と地域住民が協力して、地震・津波および火災等を想定した各種訓練を行い、災害予防と災害応急対策等の防災活動が迅速・的確に実施できるようにするとともに、防災意識の高揚を図ることを目的としています。

◆訓練の内容

日本海中部地震から30年目の節目を迎えた今年度は、風化する防災意識を掘り起こす好機ととらえ▼地震・津波災害に対する正しい避難行動の習得、避難場所・避難経路の確認▼市民の防災に関する知識の向上と意識の高揚▼防災関係機関・民間企業等および地域住民と連携した訓練の実施と災害対応力の向上の3点を重点項目に掲げ、「自助・共助・公助」の意義を市民一人ひとりが考え、地域防災力の向上に資することとなるよう実施します。

◆訓練の日程等

期日 8月30日(金)

時間 午前8時30分～正午

会場 象潟元町地域

◆主な訓練内容 ▼津波避難訓練(象潟公会堂、象潟小、象潟駅) ▼火災延焼防止訓練(駅前、武道島、TDK象潟工場) ▼救助・捜索・救護訓練(旧象潟中跡地、象潟グラウンド、金浦漁港) ▼災害復旧訓練(象潟中) ▼避難所開設訓練(象潟公民館)

▼炊き出し訓練(象潟公民館)

※詳しい内容は広報8月15日号でお知らせします。

◆注意事項 ▼訓練会場周辺交通規制有り▼当日、サイレンや防災無線の放送有り▼象潟グラウンドおよび九十九球場においてヘリコプターの発着有り、騒音や土ほこりが発生することがあります。

地域防災の要「消防団員」を募集していきます。

◆消防団員募集

にかほ市では、地域防災の要である消防団員を募集しています。また、消防団員が日中に会社勤めなどで地域に不在になることで生じる災害対応力低下を防ぐため、支援消防団員(消防職員OB)も併せて募集しています。

◆消防団とは?

消防団は、消防組織法によって定められた市町村の消防機関です。構成員である団員は、非常勤特別職の地方公務員である一方、他に本業を持ちながら自らの意思に基づく参加、すなわちボランティアとしての性格も併せて有しています。



◆消防団の活動

平成25年7月1日現在、市内消防団の団員数は581人(内女性部団員16人)で活動しています。全団員のうち会社勤めをしている団員の割合は約85%です。にかほ市では、団員が活動しやすい環境等の整備のため、平成19年10月に「にかほ市消防団協力事業所表示制度実施要綱」を定め、市内19事業所を認定しています。

また、消防団の女性部においては、東日本大震災の津波被害を視察した経験から、自分の身は自分で守る「自助」の重要性を子どもたちに伝える「地震・津波防災教室」を市内小学校で開催しています。



**原爆投下の日・終戦記念日に
伴うサイレン吹鳴**

以下の日時に、平和記念のサイレンを吹鳴します。皆さんも黙とうをささげてください。

- ◆広島原爆投下時刻 8月6日(火)/午前8時15分
- ◆長崎原爆投下時刻 8月9日(金)/午前11時2分
- ◆終戦記念日 8月15日(木)/正午

問合せ先 企画情報課 ☎43-7510

